

**【福岡県福岡市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	福岡県福岡市
担当課名	教育委員会 指導部 中学校教育課
電話番号	092-711-4639

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	1640803人	部活動数	921部活
公立中学校数	70校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置しない
公立中学校生徒数	38796人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定しない

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

1. 少子化の進展、生徒数の減少にかかわる現状・課題

- 福岡市は、全国的な少子化傾向とは異なり、児童生徒数は横ばいで推移しており、当面の間、生徒数に大きな変化はない見込みである。（右図）
- 生徒数の減少により存続が厳しい部活動は増えておらず、拠点校方式や合同部活動を実施する場合、生徒の活動・大会出場機会の減少が懸念される。

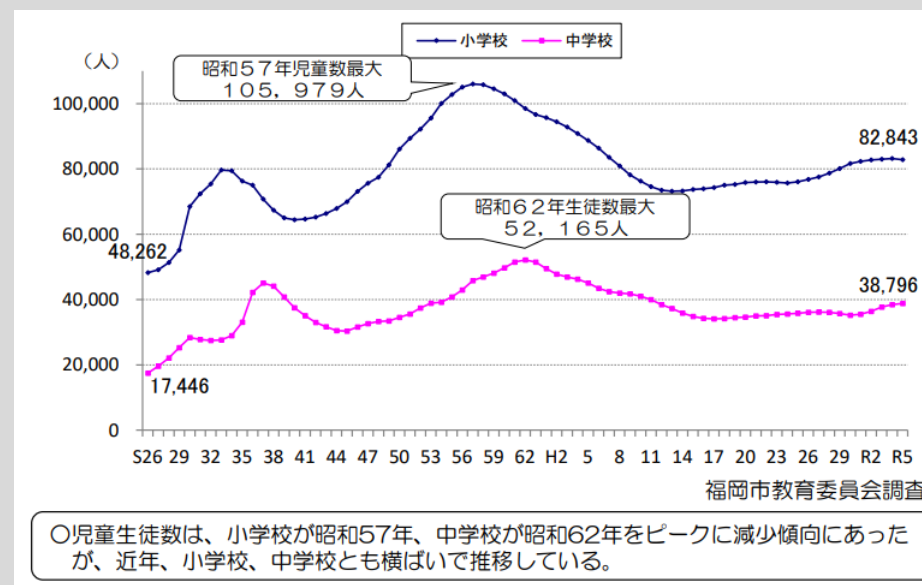
2. 教員の負担にかかわる現状・課題

- 教員は、競技経験がなくても指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動指導が求められたりする場合もある。
- 教員の働き方改革は急務である。

3. 地域クラブの体制を整備する際に予想される課題

- 地域クラブを担う指導員や受け皿の量・質の確保
- 地域クラブが学校施設を使う場合、学校の連絡・調整役及び鍵の管理
- 地域クラブで起こるトラブル（いじめ等）の対応
- 地域クラブの会費（参加料や指導者への謝金等）による保護者の負担
- 学校部活動と地域クラブの指導方針・目的が異なることによる生徒の困惑

児童生徒数の推移

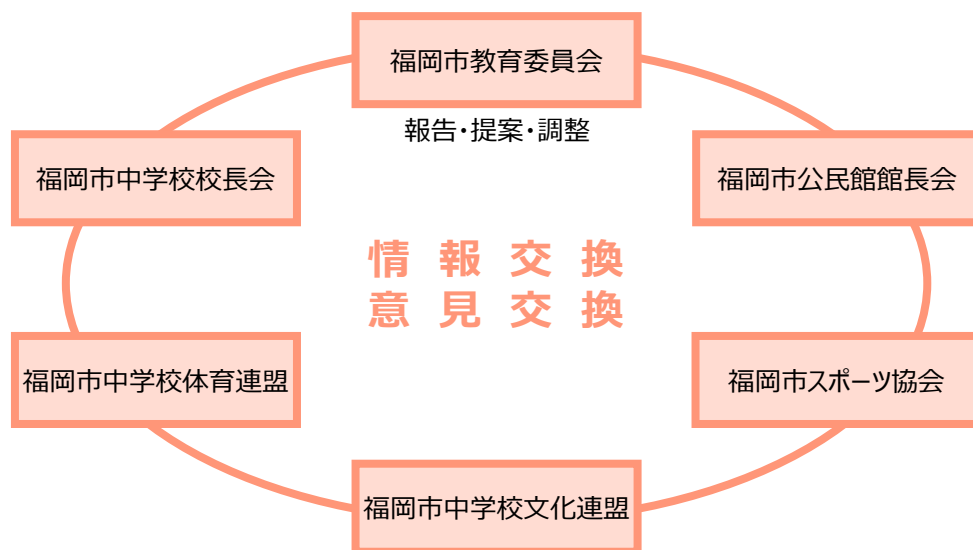


※出典：福岡市教育データブック（令和5年度版）

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（中学校教育課）
 - 参加校・部活動及び委託事業者の選定
 - 参加校・部活動の顧問及び保護者への説明
 - 活動計画及び活動報告の把握
 - 活動の視察及び参加者の意見の収集
 - トラブル発生時の対応及び調整
 - 部活動意見交換会での報告・提案・調整

年間の事業スケジュール

- 令和5年 4月 … 参加希望校調査・決定、委託事業者募集、委託業者選考委員会設置
5月 … 委託事業者提案説明・決定、3者打合せ（参加校、運営事業者、教育委員会）、参加部活動保護者会
6月 … 委託業務開始（令和6年3月31日まで）、活動視察
7月 … 連絡会開催、部活動意見交換会開催
8月 … 活動視察
10月 … 参加者アンケート実施
12月 … 連絡会開催
令和6年 2月 … 参加者アンケート実施
3月 … 連絡会開催、活動視察、部活動意見交換会開催

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

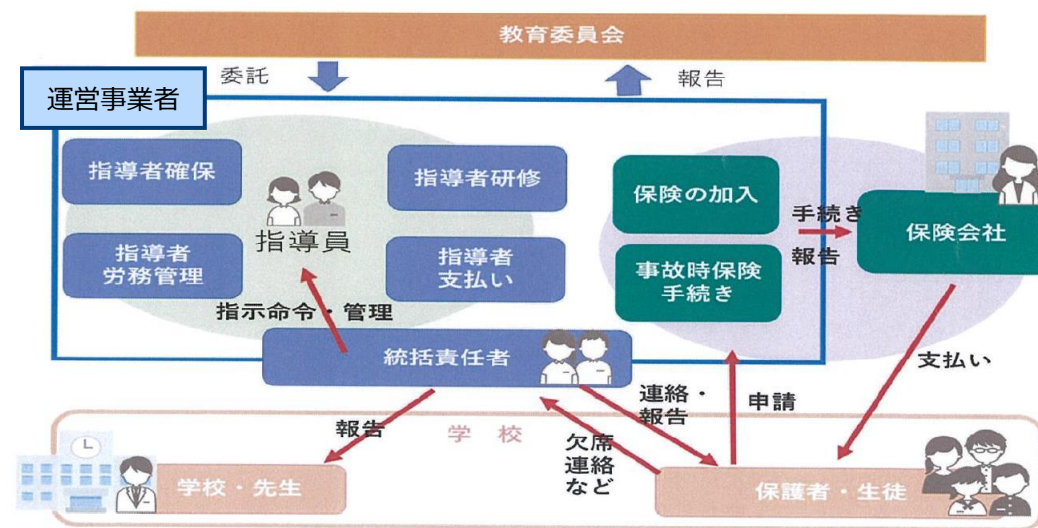
拠点校数	2 校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	卓球、男子ソフトテニス、サッカー、女子バスケットボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4 部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	高取中学校・田隈中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	4 部活
地域クラブ活動で実施した種目	卓球、男子ソフトテニス、サッカー、女子バスケットボール
運営主体名	リーフラス株式会社
運営類型	民間スポーツ事業者運営型
1 か月あたりの平均的な活動回数	月 4 回程度
指導者の主な属性	大学生
活動場所	高取中学校・田隈中学校 施設
主な移動手段	徒歩
1 人あたりの参加会費等(年額)	0 円
1 人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒 1 人あたり：0 円/年 指導者 1 人あたり：0 円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

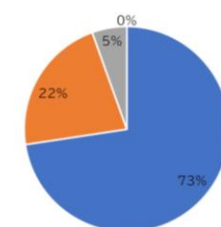
取組事項

専門的な指導ができる指導員を派遣することによる生徒の活動の質の向上

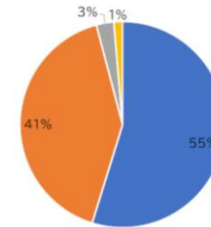
取組の成果

実証事業に参加した中学生を対象としたアンケート調査の結果、ほとんどの回答者が、指導員の専門的な指導により、競技への向上心や興味・関心の高まりを実感していることが確認できた。
生徒の活動の質の向上について、専門的な指導は一定の効果があることがわかった。

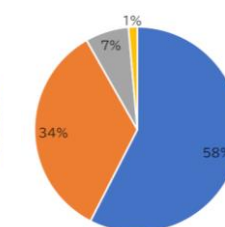
部活動に対してもっと上手になりたい、成長したいと思うようになった。



部活動に対して真剣に取り組むようになった。



その競技スポーツが少しずつ上達し、楽しくて好きになった。



■ とてもそう思う
■ そう思う
■ どちらかというとそう思わない
■ そう思わない

※令和6年2年
アンケート調査
回答者：生徒

特に工夫した事項

- 3者打合せ（学校関係者、運営事業者、教育委員会）
…事前に、事業の目的や日頃の活動内容、顧問の指導方針、生徒の競技力等を共有し、開始後の参加生徒の困惑の軽減を図った。
- 統括責任者と運営補助員の配置
…指導員に対して、統括責任者が監督し、運営補助員が補助する体制で運営し、明確な役割分担による適切な運営を図った。
- 活動報告書の共有、連絡会の開催
…運営事業者が作成した毎回の活動報告書を教育委員会と学校関係者に共有するなどし、活動・指導内容の把握に努めた。

今後の課題と対応方針

- 地域クラブを担う指導員や受け皿の量・質の確保
- 地域クラブで起こるトラブル（いじめ等）の対応
- 学校部活動と地域クラブの指導方針・目的が異なることによる生徒の困惑

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ク：その他の取組

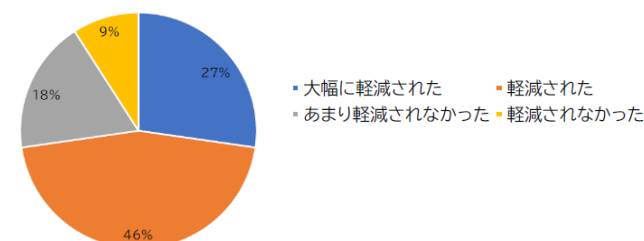
取組事項

休日の部活動を外部委託することによる顧問を担う教員の負担軽減

取組の成果

実証事業に参加した学校関係者を対象としたアンケート調査の結果、ほとんどの回答者が、運営事業者の連携・対応に満足しており、顧問を担う教員の負担軽減を実感していることが確認できた。
顧問を担う教員の負担軽減について、部活動の外部委託は一定の効果があることがわかった。

「休日の運動部活動地域移行に向けたモデル事業」によって先生方の負担は軽減されましたか？



※令和6年2月
アンケート調査
回答者：学校

特に工夫した事項

○月あたりの時間外勤務時間の推移（右図）
…実証事業に参加した部活動の顧問8人について、開始前後の月あたりの時間外勤務時間の推移を調査した。
→ほとんどの顧問の時間外勤務時間が実証事業開始後に減少している。

顧問	残業時間の増減	顧問	残業時間の増減
A	-37 : 07	E	-17 : 13
B	-23 : 08	F	-18 : 54
C	+06 : 09	G	-03 : 51
D	-20 : 05	H	-25 : 35

今後の課題と対応方針

○地域クラブが学校施設を使う場合、学校の連絡・調整役及び鍵の管理（土日のみの地域移行だと教員の負担が解消したとは言えない。）

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



1 全国的な部活動の課題

- ①少子化の進展、生徒数の減少により
存続が厳しい部活動が増えている
- 改革の必要性**
- 福岡市では…
生徒数は毎年微増している
この先10年に大きな変化はない見込み

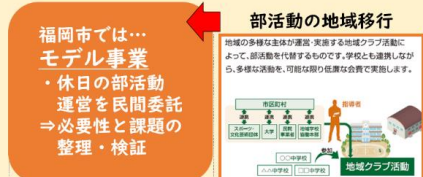
1 全国的な部活動の課題

- 福岡市においても…
教員の働き方改革は急務である
- 改革の必要性**
- ②教員にとって負担になっている
・競技経験のない教員が指導せざるを得ない
・休日も含めた部活動指導が求められる

3 地域連携と地域移行



3 地域連携と地域移行



4 これからの取組

- 当面の間は部活動指導員・支援員を充実させ、部活動の地域連携を進めて教員の負担を軽減
- 地域移行モデル事業の成果をまとめ、複数の道筋や多様な方法から福岡市に実情に応じた部活動の在り方を検討

- 学校へ通知（令和6年1月）
⇒その後、学校が必要に応じて、生徒、保護者、地域へ周知

回答者：学校関係者	肯定的回答	否定的回答
①教員の負担は軽減されたか。	73%	27%
②生徒の様子や取組に変化はあったか。	64%	36%
③運営事業者の連携・対応に満足したか。	80%	20%
④指導員の指導に満足したか。	64%	36%

- 顧問が土日に適切に休めて自分のために使う時間ができた。
○指導員の専門的なアドバイスが生徒の意欲や技術の向上につながった。
○運営事業者から学校・保護者へのこまめな連絡により情報共有がスムーズに行われた。
●学校部活動と地域クラブの指導方針・目的が異なることによる生徒への影響が懸念される。
●土日のみの地域移行だと教員の負担が解消したとは言えない。

回答者：保護者	肯定的回答	否定的回答
⑤子どもの様子や取組に変化はあったか。	45%	55%
⑥運営事業者の連絡・対応に満足したか。	86%	14%
⑦地域クラブ活動への移行を進めるべきか。	92%	8%

- 指導員の専門的な技術的指導は、子どもにとってわかりやすく信頼できた。
○欠席等の連絡方法が簡単だった。○活動中の怪我に対する対応に安心できた。
○教員の負担軽減、生徒への専門的な指導のために進めるべきだと思う。
●そもそも学校部活動と地域クラブでは保護者が期待するものが異なる。
※会費の保護者負担については、37%が1000円、30%が無料が適正であると回答した。

回答者：生徒	肯定的回答	否定的回答
⑧もっと上達したいと思うようになったか。	95%	5%
⑨真剣に取り組むようになったか。	96%	4%
⑩競技が楽しくて好きになったか。	92%	8%

【「福岡市の部活動改革」より抜粋】

【実証事業参加者アンケート調査（令和6年2月）の結果】

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【卓球】



【男子ソフトテニス】



【サッカー】



【女子バスケットボール】

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

福岡市教育委員会 部活動改革スケジュール（案）

